

学ぶぞ！ ^{ひら}拓くぞ！

平成 17 年度 農業経営体育成セミナーの開催

5月26日、山武の明日を担う若い農業者が集まって、農業経営体育成セミナーの開講式を山武合同庁舎で開催しました。

会場は、例年の3倍近くにもなる29名の若者でいっぱいになりました。

山武農林振興センター 藤井所長のあいさつのあと、来賓の千葉県指導農業士会 山武支部 作田会長から、経験に基づいた励ましの言葉がありました。本年は各市町村からも多数の出席をいただき、期待の大きさが感じられました。

セミナーは、お互いの経営訪問を皮切りに、土壌・肥料や農薬使用などについての講義、先進農家への視察研修やプロジェクト活動を行っていきます。セミナーを通して、知識を学び、人の輪を広げ、明日の農業を拓く担い手と成長することが期待されます。



満員の開講式場



来賓の方も多数



先輩の事例に学ぶ

各地の話題・松尾町

水田畦畔管理の省力化をめざして

除草剤に頼らず、しかも刈り払いの手間も省力化できる技術として、被覆植物による畦畔管理技術が注目されています。管内では、大網白里町や九十九里町など、大規模稲作農家での導入が始まっています。

今回、基盤整備事業に取り組む松尾町豊岡地区では、工事がすすむとともに大区画ほ場での畦畔管理作業の大変さが心配されるようになりました。

そこで、畦畔管理作業の省力化をめざしたモデルほ場を設置しようと、営農部会の皆さんが中心となり5月下旬に、は種作業を行いました。は種後に降雨が少なかったため、発芽が遅れましたが、梅雨入り後は、順調に生育が進んでいます。また、苗を定植する方法も併せて試みています。順調な生育が続けば、来年の夏には「センチピードグラス」が畦畔を覆い、省力的に管理できるようになることでしょう。



豊岡地区でののは種作業の様子



センチピードグラスの使用事例

各地の話題・横芝町

暑い夏に冷たいかぼちゃはいかが？

伝統ある地域の特産かぼちゃを消費者にPRしようと、横芝町のJA大総支所かぼちゃ部会(秋鹿文雄部会長)が6月18日・19日の2日間、成田市にある大手量販店で宣伝活動を行いました。

とかく暑いとかぼちゃの消費が伸びないと言われています。そこで、今年は生産農家の女性たちも参加し、横芝かぼちゃを「冷たく、おいしく」食べる料理法の提案を行いました。

用意した試食品の「かぼちゃアイス」と「かぼちゃ涼サラダ」、そしてレシピ集300冊はすぐになくなり、特にアイスは人気が集まりました。

初めてPR活動に生産農家の女性が加わったことで、男性部会員は「女性同士だとお客さんも試食品を良く手に取ってくれる」と安心顔。参加した4名の女性たちも活動終了後には「疲れたけどお客さんと直接ふれあうことができて楽しかった」と笑顔で語ってくれました。

部会では「次は地元横芝でもPR」と今後の方針を検討しています。



生産者によるかぼちゃPR活動



おいしい「かぼちゃ涼サラダ」

技術情報・花き

直売に向く切り花（キンセンカ）

彼岸の時期に出荷できるキンセンカは直売の人気商品です。

0℃以下の低温では生育遅れや、凍害での花卉の傷みがでるので注意が必要です。

品種は早咲き種のオレンジスターが主力です。

- ・ 作型

- 9月上旬播種（早くても8月盆以降）

- 10月上旬定植

- ・ 種子量（1aあたり）

- 60ml程度（1800粒）

- ・ 育苗

- セルトレイ（128穴以上）に培養土を詰めて、種を1穴に2～3粒落とし、軽く隠れる程度に覆土します。

- 双葉が出そろったら早めに1穴1本に間引きをして、本葉5～6枚、30日程度で定植になります。

- ・ 本ぼ定植

- ベッド幅50cm、2条、株間15cm（通路幅1m）

- ・ 摘芯

- 本葉10枚ごろ5枚で摘芯し、5本程度の枝数にします。

- ・ ネット張り、トンネルがけ

- 摘芯が終わったら除草、追肥、病害虫防除をします。

- 曲がりを防ぐため、ネットを地上40cmぐらいに張ります。

- 寒さの花傷みを防止するため、12月になったら、梨地POフィルム（寒暖の差が少なく、換気がいらない）でトンネルがけをします。内陸では無加温ハウスが必要です。

技術情報・畜産

ここがポイント

良質な家畜ふん堆肥製造に向けて

家畜排せつ物法の施行以降、堆肥化施設の整備が進み、家畜ふん堆肥の生産量も増加してきています。

そこで、良質な堆肥生産に向けた製造技術のポイントを紹介します。

・水分は適当ですか？

スタート時、65%程度に水分を調整することと、容積重を10リットルあたり7kg以下にし通気性を確保することが重要です。

・空気(酸素)は十分に送られていますか？

通気性が良くなるように、攪拌または時々切り返しましょう。

通気性を良くすることで、水分を大幅に蒸発させることができます。

・温度は上昇していますか？

60℃以上を2日間維持することにより、雑草種子や病原菌を死滅させることができます。

・時間をかけていますか？

切り返しても温度が上昇しなくなるまで堆肥化しましょう。

【堆積方式での目安】

家畜ふんのみ

2ヶ月

稲わら・籾殻+家畜ふん

3ヶ月

木質資材(オガクズ・バークなど)+家畜ふん

6ヶ月



現地のアイデア・コンプレッサー通気による堆肥化促進

シリーズ・産地を支える女性たち

成東町・戸村洋子さん

楽しみながら農業を・・・

成東町寺崎で水稻とネギを生産している戸村洋子さんを紹介します。

戸村さんは、山武地域の産地のデパートともいえるJA山武郡市の「緑の風」を支える女性たちの一人です。

米とネギを中心に、30品目をこえる商品を出しています。

味を追求したこだわりの栽培を行っている米には、固定客もつきはじめています。今年は、ちばエコ米の個人認証を受け、より安全・安心を心がけた栽培に取り組んでいます。

ネギは土作りと品種選びを重ね、美味しさを追求し、1年を通して出荷しています。

野菜類には、栄養士としての経験を生かした食べ方のヒントを付けて店頭にならべます。

戸村さんは「家族全員の協力があって、多くの野菜類を出荷することができる。今は、毎日緑の風へ行くのが楽しい。これからも、お米や野菜を多くのお客様の食卓へ届けていきたい」と話していました。店内では顔なじみのお客さんも次第に増え、声をかけられることもしばしば。

お客さんから直接美味しいといってくれる楽しみで、やる気があふれてくるようです。楽しみながら農業を行うエネルギーが、これからの産地をより発展させてくれることでしょう。

シリーズ・旬の味

ブルーベリーのゼリー

山武地域でも生産が増えているブルーベリーは、6月～8月にかけて味覚を楽しむことができます。

生食はもちろんジャム、ジュースやアイスクリーム等の材料としても大人気です。

暑い夏を乗り切る冷たいおやつを作ってみませんか。

材料（6個分）

ブルーベリー	200 g
水	3カップ
砂糖	150 g
粉寒天	4 g
ゼラチン	5 g
水	50cc
レモン汁	少々

作り方

1. ブルーベリーをフードプロセッサーでつぶし、なめらかにします。
これを、こし器に入れ、3カップの水をかけながら、ボールにこします。
2. こしたブルーベリー液を鍋に入れ、砂糖と粉寒天を加えて火にかけます。
沸騰後、3分煮ます。
3. ゼラチンを水にふやかして、2に加えます。
火を消し、最後にレモン汁少々を加えかき混ぜます。
4. ゼリーカップに注ぎ、バットに氷水を張って冷やします。